

講師プロフィール&講義内容詳細



Honda Hideo

本田 秀夫 氏 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 教授
信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部 部長

1988年東京大学医学部卒業。横浜市総合リハビリテーションセンター、山梨県立こころの発達総合支援センター等を経て、2014年より信州大学に勤務。2011年に特定非営利活動法人ネスト・ジャパンを立ち上げ、代表理事を務めている。日本自閉症スペクトラム学会会長。

ASDの人たちは、特有の認知スタイルと選好を示す「種族」と考えられます。言語や身振りなどのコミュニケーション行動と内面の心との関係も独特です。この講演では、ASDの人たちが示すことの多いコミュニケーションのサンプルから、特有のスタイルについて考えます。



Kado Shinichirou

門 眞一郎 氏 フリーランス児童精神科医

1973年京都大学医学部卒業、1981年から2017年まで京都市児童福祉センター勤務。ピラミッド・エデュケーショナル・コンサルタント社名誉コンサルタント。退職後は、絵カード交換式コミュニケーション・システム®の普及のための活動を行っている。PECSトレーニング・マニュアル監訳者。

ASDの人は通常の音声コミュニケーションが困難で、視覚的な代替コミュニケーション手段が有用です。特に、自発的に表出することを教える《絵カード交換式コミュニケーション・システム®》は科学的根拠も確立しているきわめて効果的な指導法です。その概要を紹介します。



Nakatani Masae

中谷 正恵 氏 保護者

TEACCHプログラムをベースにした民間療育グループを数名の保護者、専門家の先生方と立ち上げる。その後、療育相談や個別コンサルの仕事に従事。17年間続けてきた自閉症児者に関わる仕事を2022年3月に終了し、現在は娘の暮らしがより豊かになるようにピラミッド教育アプローチを学び中。

知的障害、自閉スペクトラム症も共に最重度で無言語の娘の生活の様子を見ていただきながら、PECS®を用いた表出コミュニケーションや理解コミュニケーションの支援について具体的にお話しさせていただきます。



Komichi Moko

小道 モコ 氏 英会話講師

ICU:国際基督教大学語学科を卒業。英会話学校に就職。30代でASDの診断を受ける。2009年『あかし研究』の出版に伴い講演活動で全国に赴く。2018年ドイツ（ミュンヘン、ニュルンベルク）にて自著を紹介し講演する機会を得る。現在は関西で療育にたずさわりながら英会話教室を運営している。

自分の脳機能が少数派に属するとわかってから、私は自分のモノの見え方/捉え方をイラストで表現するようになりました。文字で書いて説明するより絵の方が、表現しやすかったからです。今でも『あかし研究』は続いています。イラストを交えてご紹介できたら、と思っています。



NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽ

<https://npotanpopo.jimdofree.com/>



NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽは「自閉スペクトラム症児・者が、必要な時に適切な援助を受け、普通に地域で生き活きと暮らせる滋賀」を目指して1996年より活動しています。自閉スペクトラム症の正しい知識の啓発や適切な療育の提供に関するさまざまな事業を行っています。